

## 本県の産業廃棄物処理状況の推移

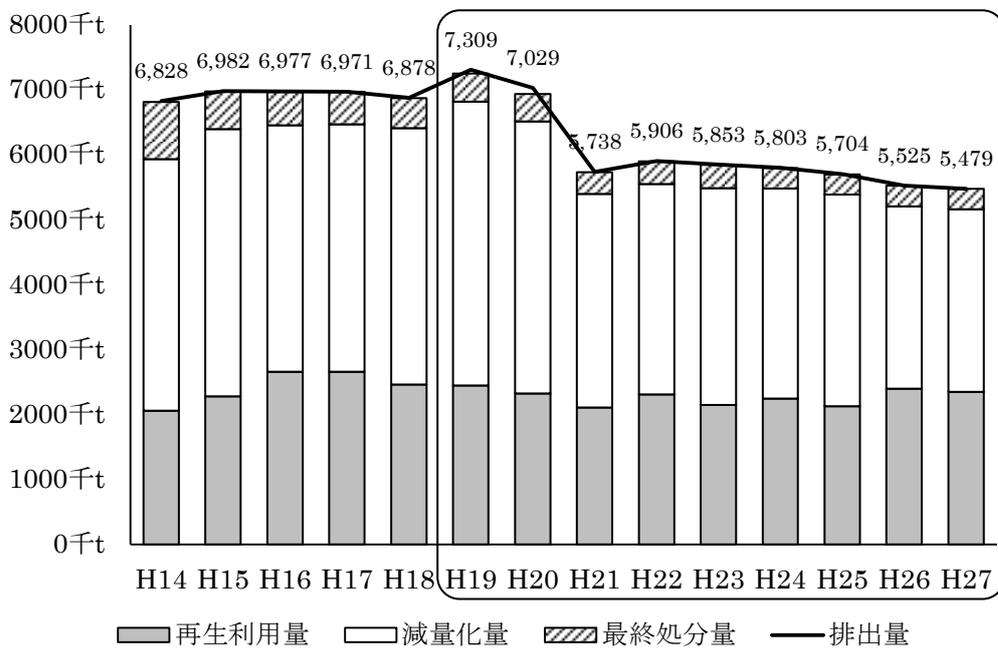
## 1 全体の推移

表-1 排出量及び処理の推移

単位:千t

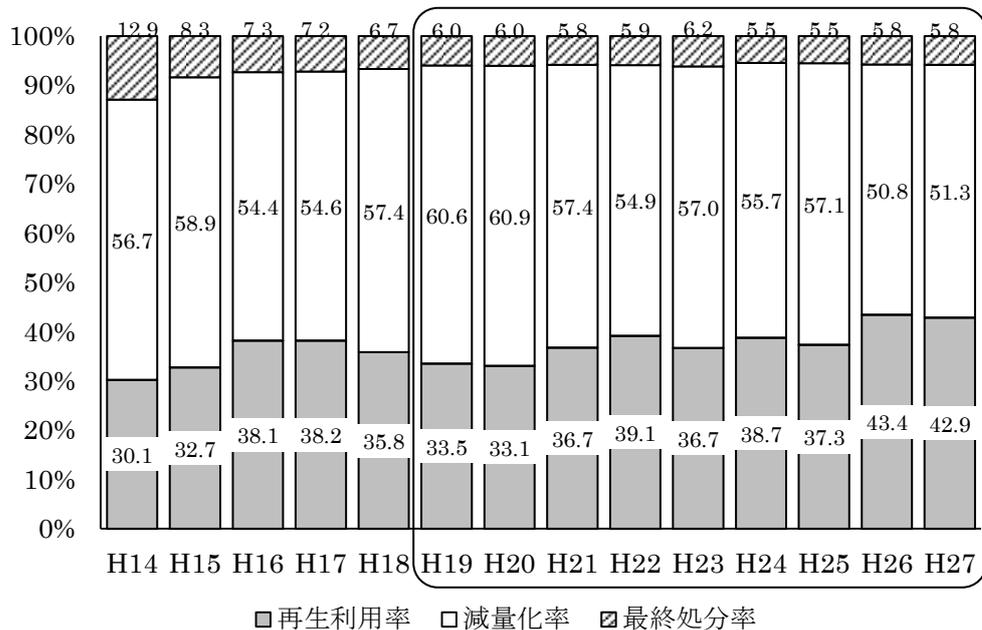
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
排出量	6,828	6,982	6,977	6,971	6,878	7,309	7,029	5,738	5,906	5,853	5,803	5,704	5,525	5,479
再生利用量	2,058	2,283	2,659	2,660	2,463	2,448	2,325	2,107	2,310	2,146	2,248	2,129	2,399	2,348
減量化量	3,874	4,111	3,798	3,809	3,949	4,370	4,188	3,291	3,243	3,339	3,232	3,258	2,808	2,812
最終処分量	881	582	510	501	461	435	424	335	348	362	317	313	318	319

図1-1 排出量及び処理の推移



排出量は減少、再生利用量(率)は向上、最終処分量(率)はわずかではあるが減少傾向

図1-2 処理別割合の推移



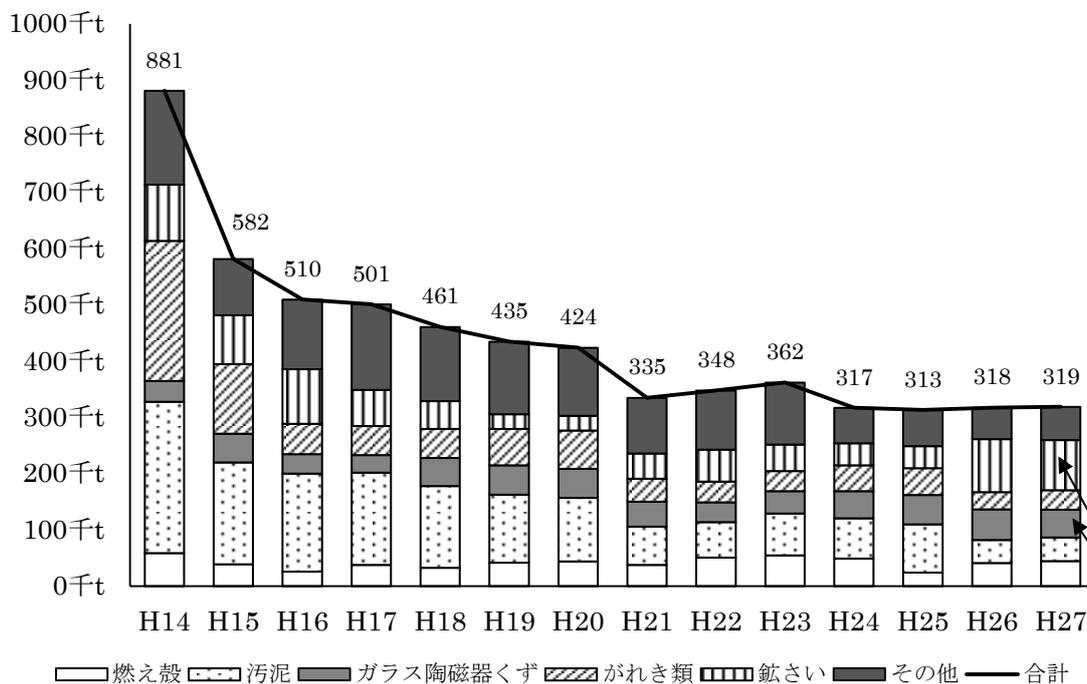
## 2 最終処分量の推移

表-2 種類別最終処分量の推移

(単位：千トン)

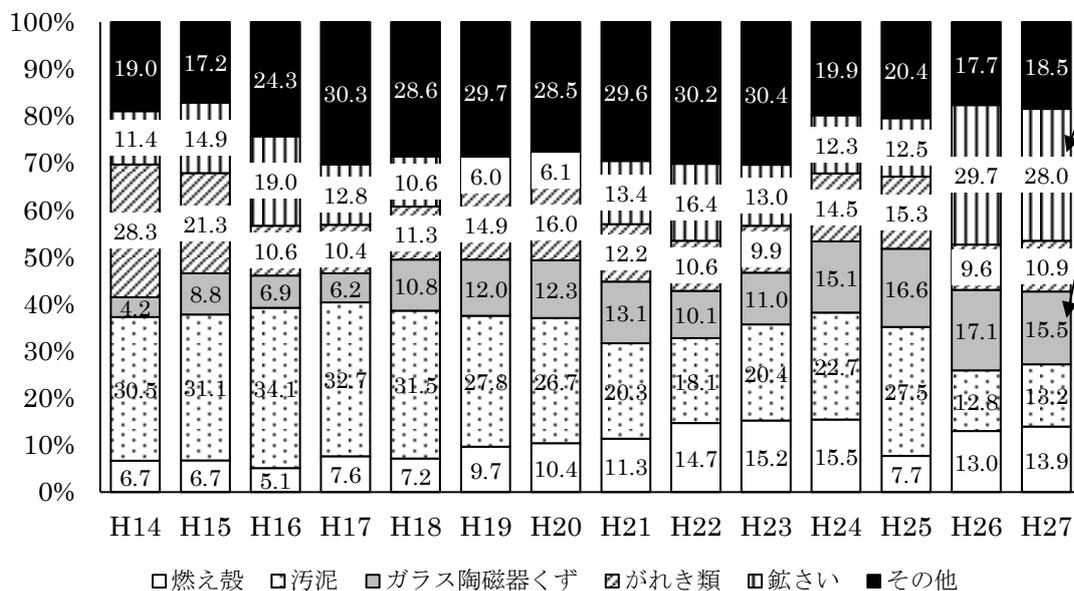
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
合計	881	582	510	501	461	435	424	335	348	362	317	313	318	319
燃え殻	59	39	26	38	33	42	44	38	51	55	49	24	41	44
汚泥	269	181	174	164	145	121	113	68	63	74	72	86	41	42
ガラス陶磁器くず	37	51	35	31	50	52	52	44	35	40	48	52	54	49
がれき類	249	124	54	52	52	65	68	41	37	36	46	48	31	35
鉱さい	100	87	97	64	49	26	26	45	57	47	39	39	94	89
その他	167	100	124	152	132	129	121	99	105	110	63	64	56	59

図2-1 種類別最終処分量の推移



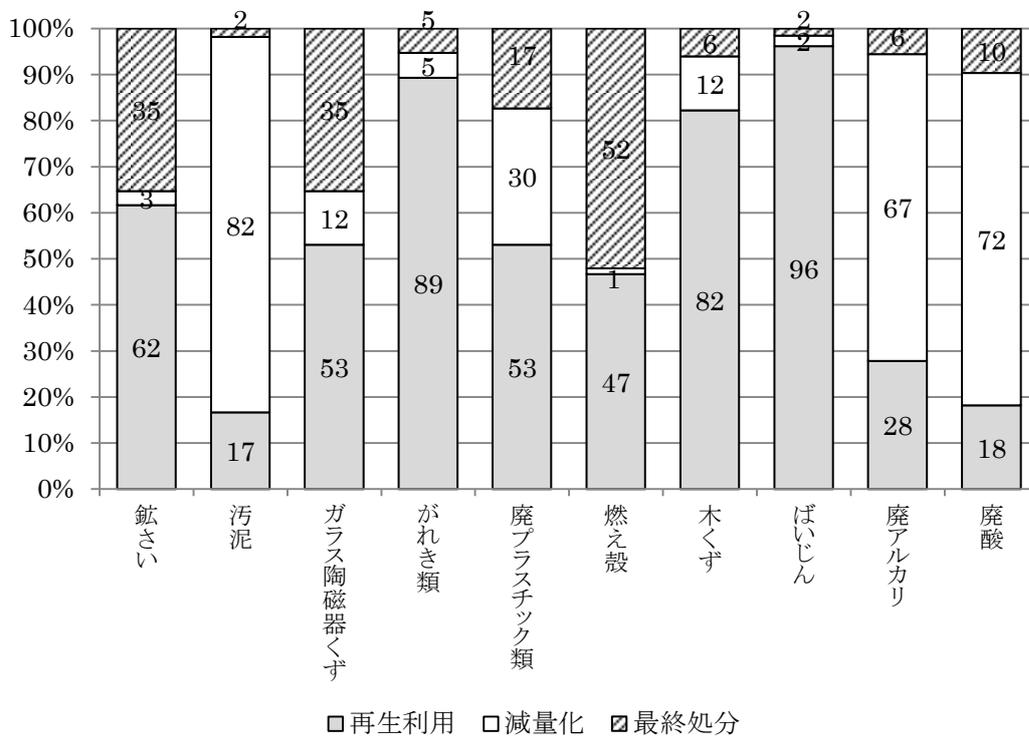
最終処分量が減少する中、鉱さい・ガラス陶磁器くずの占める割合が増加傾向

図2-2 種類別割合の推移



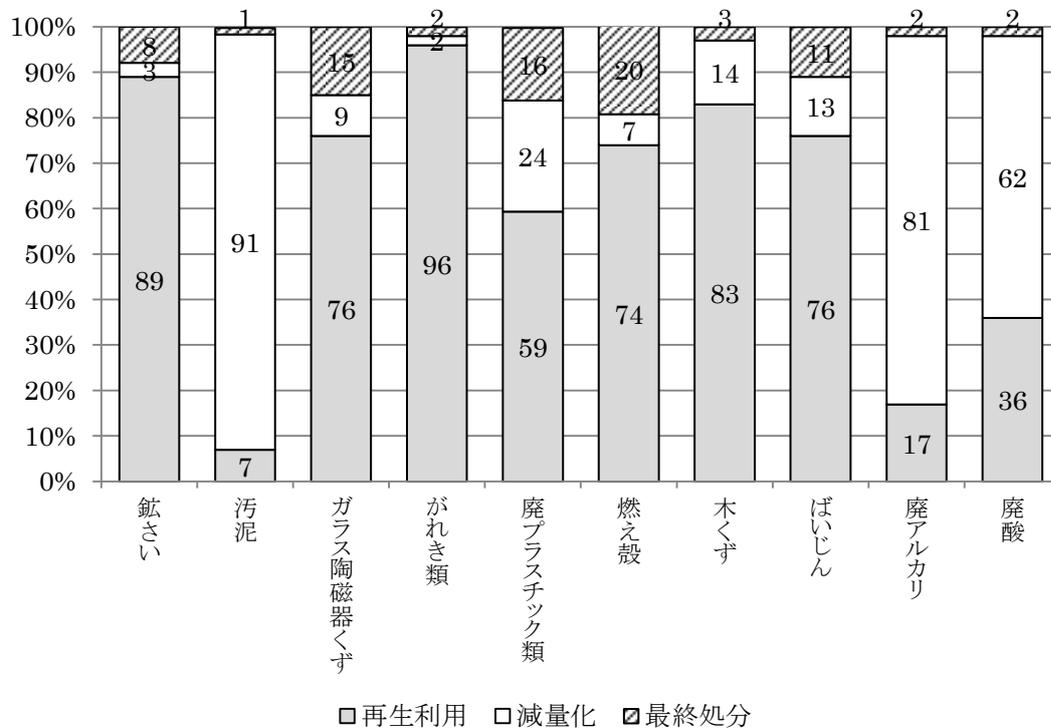
### 3 種類別処理状況

図3-1 岡山県（平成27年度）… 最終処分時の数量が多い上位10種類（排出時の種類）



全国と比べて再生利用率や最終処分率に差がある種類（鉄さい、ガラス陶磁器くず、燃え殻）の排出抑制、リサイクルを促進する必要

図3-2 全国集計（平成26年度）



出典：「産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成26年度実績）」（環境省）  
（図3-1に対応する種類を抽出）

## 使途事業の課題等について

### 1 使途事業の方向性

次の3つを柱に、この優先順位のもとで施策を推進している。

- 1 産業活動に係る3Rの促進のための技術導入や施設整備などの「産業活動の支援」
- 2 産業廃棄物に係る不法投棄の防止など公平性・社会正義を実現するための「適正処理の推進」
- 3 事業者の事業活動に大きな影響を与える県民のライフスタイル（日常生活様式・行動様式）を変革し、3Rの推進に向けた県民の実践的な取組等を誘導するための「意識の改革」

### 2 使途事業の現状

[産廃税の充当額（決算額）]

（単位：千円）

項目 \ 年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1 産業活動の支援	70,491 (22%)	61,074 (21%)	84,797 (29%)	52,342 (19%)	89,565 (30%)
2 適正処理の推進	152,257 (46%)	149,549 (52%)	139,703 (47%)	144,392 (53%)	143,530 (48%)
3 意識の改革	104,849 (32%)	79,643 (27%)	72,205 (24%)	75,757 (28%)	63,464 (22%)
合計	327,597	290,266	296,705	272,491	296,559

注) 下段の括弧書きの数値は、各年度の合計に占める比率

### 3 使途事業の課題

- 産業廃棄物の発生抑制、減量化、再生利用をさらに進めるための、鋳さい、ガラス陶磁器くず、燃え殻など全国集計と比べて再生利用率が低いもの等への対策
  - ・事業者における排出抑制や、適正な循環的利用の技術面での進展を促進
  - ・消費者（県民・事業者）にとって付加価値が高く、競争力のあるリサイクル製品・技術の市場投入を促進
  - ・事業者の活動に影響を与える消費者（県民・事業者）の3Rに対する意識の更なる向上
- 産業廃棄物の適正処理は着実に進んでいると考えられるが、不適正処理や不法投棄が根絶されている状況にはないことから、不法投棄などの不適正処理の防止施策の継続的实施

#### 4 平成29年度新規使途事業

産業廃棄物の3Rをさらに進めるため、平成29年度から以下の事業を実施している。

##### (1) 事業者の3Rへの理解向上・取組支援

###### ア 課題

- ・県内の企業の大部分を占める中小企業では、3Rを推進するための人材やノウハウが十分とはいえない。
- ・岡山エコ事業所・岡山県エコ製品認定制度等の施策の認知度が低い。

###### イ 中小企業3Rアドバイザーの派遣【環境文化部】

- ・中小企業に直接出向き、ニーズに沿った助言、情報提供、橋渡し等のアドバイス（事業所のゼロエミッション化、事業活動における3Rの導入、循環資源の活用に向けた事業パートナーとのマッチング等）や、岡山エコ事業所・岡山県エコ製品認定制度等の施策PRを行うアドバイザーを派遣
- ・アドバイザーの業務（例）
  - ・企業訪問による各種ニーズの洗い出しと、3Rに係る情報収集及び提供
  - ・本業務に関連した県事業の広報活動
  - ・廃棄物の処理やリサイクル技術などについての企業等からの相談に対する適切な情報提供、アドバイス など

##### (2) リサイクルに対する事業者・県民のインセンティブ向上

###### ア 課題

- ・事業者がリサイクルを推進するためには、リサイクル需要が必要であるが、リサイクル製品は一般的には製品価格が高い。
- ・消費者や販売者にとっては、環境にやさしいというだけではなく、製品自体に何らかの付加価値が必要

###### イ エコプロダクツ製品化支援事業【産業労働部】

- ・事業者の主体的な取組により、魅力的で、かつ、市場競争力のあるリサイクル製品が市場投入されることを目的とした補助制度

